

## 東京都の麻しん・風しんの累積接種率調査（2023年、2024年）

この報告は下記の調査結果（未発表）の抜粋をお示しするものです。正式に発表する数値としてはまだ確定していませんが、最終的にはほぼこのままの値となると思われます。

定期予防接種の累積接種率（2023年調査ならびに2024年調査）に関する研究

研究代表者：鈴木 基（国立感染症研究所感染症疫学センター長）

研究代表者：有田 峰太郎（国立感染症研究所ウイルス第二部室長）

**研究協力者：崎山 弘（崎山小児科）**

研究協力者：城 青衣（がん・感染症センター都立駒込病院）

集計協力（株）医療産業研究所

この調査は、厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業、および、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「ワクチンによって予防可能な疾病のサーベイランス強化と新規ワクチンの創出に関する研究」の補助金によるものである。

### 調査方法

2歳児調査は、令和2年度国勢調査の結果に基づき標本総数の5,000人を都道府県別2歳児人口により比例配分して都道府県毎の標本数を決定した。全国の2歳児人口は、910,005人、東京都の2歳児人口は、104,943人なので、東京都の標本数は577人となる。都内の市区町村（以下、市と略す）に無作為に標本数を割り振った。該当する標本が居住する市に標本数分の調査票を各調査年の9月下旬から10月にかけて送付した。

6歳児調査では、標本抽出方法は2歳児とほぼ同様であり、調査年度の小学校1年生に相当する標本となる。全国の6歳児人口は996,576人、東京都の6歳児人口は106,841人なので、東京都の6歳児の標本数は536人となる。

調査票は各市から郵送あるいはメール添付ファイルによりプライバシーマーク取得企業である（株）医療産業研究所が回収し集計を行った。調査票に記載されている有効標本の生年月日と接種日から各ワクチンの接種月齢を算出し、接種月齢を階級とする累積度数（その月齢までに当該ワクチンの接種を済ませた者の数に相当する）を求め、これを有効回答数で除した値を各月齢の累積接種率（以下、接種率）とした。

### 調査結果

各年の有効標本数は約450人で、有効回答率は80%前後であった。累積接種率の結果を以下に示す。

## 東京都 2 歳児

月齢	MR1期累積%	
	【2023年】	【2024年】
12か月	55.5±4.7%	61.5±4.5%
13か月	71.5±4.2%	74.3±4.0%
14か月	82.7±3.6%	83.4±3.4%
15か月	88.8±3.0%	86.7±3.1%
16か月	91.8±2.6%	88.9±2.9%
17か月	92.9±2.4%	90.0±2.8%
18か月	94.1±2.2%	91.8±2.5%
19か月	95.2±2.0%	92.9±2.4%
20か月	96.4±1.8%	94.0±2.2%
21か月	96.8±1.7%	94.5±2.1%
22か月	96.8±1.7%	94.7±2.1%
23か月	97.0±1.6%	95.1±2.0%

## 全国調査 2 歳児

月齢	MR1期		
	2022年	2023年	2024年
12	58.9±1.5	55.1±1.5	55.53%
13	75.1±1.3	71.1±1.4	71.81%
14	83.4±1.1	80.4±1.2	80.53%
15	87.9±1.0	85.4±1.1	85.11%
16	90.0±0.9	88.4±1.0	88.00%
17	92.0±0.8	90.3±0.9	90.07%
18	93.3±0.8	91.8±0.8	91.47%
19	94.4±0.7	93.4±0.8	92.93%
20	95.5±0.6	94.4±0.7	94.27%
21	96.2±0.6	95.2±0.6	95.27%
22	96.8±0.5	96.0±0.6	95.75%
23	97.4±0.5	96.9±0.5	96.71%

2歳児調査では、MR ワクチン 1 期の累積接種率が月齢 23 で約 95%であり、これは全国調査結果とほぼ同等である。東京都では月齢 12 の接種率も 60%を超えており、1歳になったらすぐに MR ワクチンを接種するという対応は概ねできている。2023 年調査は 2021 年生まれ、2024 年調査は 2022 年生まれの子どもたちを対象としている、図に示すように COVID-19 の流行が重なっているが、2023 年調査では流行の第 6 波と第 7 波の間、2024 年調査では、第 8 波の後となり、その影響はあまり受けていないように見える。

## 東京都 6 歳児

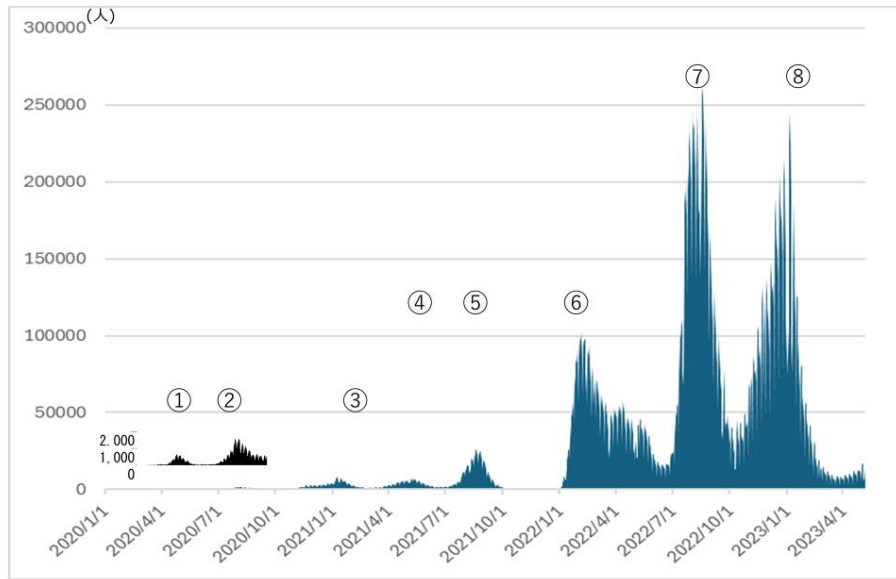
月齢	MR2期累積%	
	【2023年】	【2024年】
60か月	18.5±3.9%	16.1±3.6%
61か月	33.4±4.7%	28.7±4.4%
62か月	41.6±4.9%	38.6±4.7%
63か月	45.5±4.9%	44.6±4.8%
64か月	48.8±5.0%	48.8±4.9%
65か月	55.5±4.9%	54.5±4.9%
66か月	64.0±4.8%	60.4±4.8%
67か月	73.8±4.4%	65.8±4.6%
68か月	76.6±4.2%	70.0±4.5%
69か月	78.9±4.1%	73.8±4.3%
70か月	84.8±3.6%	79.2±4.0%
71か月	93.3±2.5%	88.9±3.1%
72か月	94.1±2.3%	89.6±3.0%
73か月	94.1±2.3%	89.9±2.9%
74か月	94.3±2.3%	89.9±2.9%
75か月	94.3±2.3%	89.9±2.9%

## 全国調査 6 歳児

月齢	MR 2 期 (*)		
	2022年	2023年	2024年
60	17.5±1.2	14.1±1.1	12.93%
	29.2±1.4	26.0±1.3	24.04%
	39.4±1.5	37.0±1.5	35.78%
65	46.4±1.5	44.1±1.5	43.27%
	53.9±1.5	49.8±1.5	49.82%
	61.5±1.5	55.8±1.5	56.15%
70	68.8±1.4	64.0±1.5	63.11%
	74.9±1.3	70.6±1.4	68.95%
	79.1±1.2	74.8±1.3	73.00%
71	82.5±1.2	78.1±1.3	76.77%
	86.2±1.1	84.0±1.1	81.93%
71	93.6±0.8	92.0±0.8	91.47%
月齢75	93.2±0.8	92.4%	

2024 年の 6 歳児調査では、月齢 71 つまり、小学校入学前の累積接種率は 90%を下回った。これは COVID-19 の影響ではなく、MR ワクチンの供給不足の時期に一致している。月齢 75 まで経過を追うと全国調査では 92%に達したが、東京都では 90%に至っていない。供給不足の影響は東京では地方より大きかったと思われる。

図1 COVID-19新規陽性者数 (2020.1.16~2023.5.8)



2023年調査														
2歳児 (月齢)														
6歳児 (月齢)	36	39	42	45	48	51	54	57	60	63	66	69	72	75
2024年調査														
2歳児 (月齢)														
6歳児 (月齢)	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	63

[https://covid19.mhlw.go.jp/public/opendata/newly\\_confirmed\\_cases\\_daily.csv](https://covid19.mhlw.go.jp/public/opendata/newly_confirmed_cases_daily.csv)

この調査では各市区町村が標本を無作為抽出する手間を省くために、2歳児調査では7月1日生まれから生年月日を遡る形で、また6歳児調査では4月1日生まれから生年月日を遡って標本を選ぶように指示している。そのため2歳児調査の標本は6月下旬生まれ、6歳児調査の標本は3月下旬生まれが多くなっている。